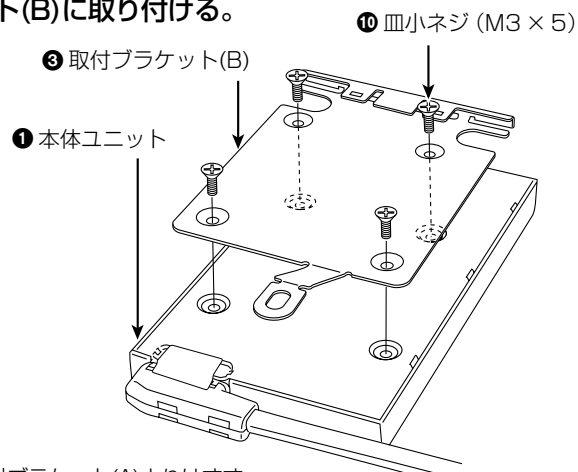


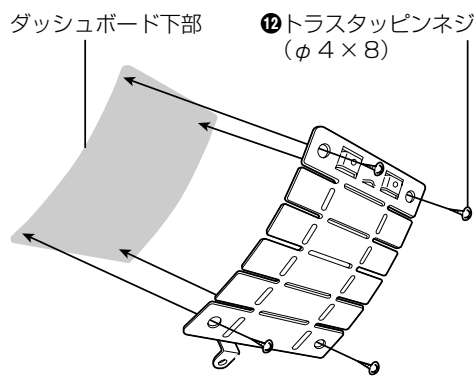
4 本体ユニットを取付ブラケット(B)に取り付ける。



- 変形させた取付ブラケット(B)を取付ブラケット(A)よりはまず。
- はずした取付ブラケット(B)を、本体ユニットへ皿小ネジ4本を使用して固定します。

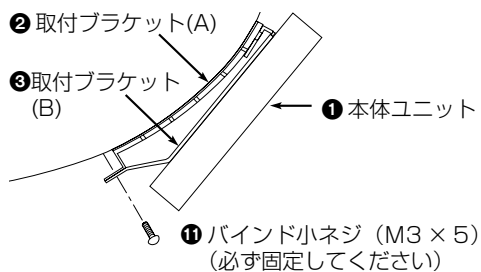
5 取付ブラケット(A)をダッシュボードに取り付ける。

- 手順2でダッシュボードの形状に合わせた取付ブラケット(A)を、手順1で接着した両面テープの剥離紙をはがし、ダッシュボード下へ取り付けます。
- トラスタッピンネジで固定します。



6 ダッシュボードに本体ユニットを取り付ける。

- 手順4で取り付けした取付ブラケット(B)の凸部を、取付ブラケット(A)の絞り部に挿入し、はめあわせる。
- バインド小ネジで固定します。



7 線材を配線する。

- コードクランパーや束線バンドを使用して、ダッシュボード下側へ見えないように配線します。余った線材は、線材固定テープや束線バンドなどで車向に固定してください。

取り付け後の確認

正しく配線が行われているか確認するため、セットアップの後、以下の手順で「取付チェック」を行ってください。

1 +B、ACC、GNDの配線および接続を確認した後、イグニッションスイッチをACCまたはON位置にする。

<確認事項>

UP ボタンを押して、一度押すごとに音量が一段階上がることを確認してください。

押すごとに

レベル1 → レベル2 → レベル3 → レベル4
(音量最小) (音量最大)

音量は、適当なレベルに調整してください。

参考：

(イグニッションスイッチがACCまたはON位置ではETCカード挿入口奥の緑LEDが常時点灯しています。)

2 手順1の状態のまま、ETCカードを正しい方向に挿入する。

(本体ユニット操作面のUPとRPTボタンがある方にETCカードのコンタクト面を向けて挿入)

参考：

ETCカードがお手元がない場合は、通常のクレジットカードなどを挿入してもチェックできます。

<確認事項>

ETCカード挿入直後に緑のLED：STDBYが1回～数回点滅します。

点滅が終了したら、「ETCが利用可能です」と音声案内します。

(ETCカード以外のカードが入っている場合は、「カードを確認してください」と音声案内します。)

3 RPT ボタンを押す。

<確認事項>

「ETCが利用可能です」と再度音声案内します。

(ETCカード以外のカードが入っている場合は、「カードを確認してください」と再度音声案内します。)

4 イグニッションスイッチをOFFにする。

<確認事項>

ERRインジケータ(赤LED)が点滅しながら、「カードが残っています」と音声案内した後、

ETC車載器の電源が切れます。(ETCカード挿入口奥の緑LEDが消灯します。)

5 ETCカード取出しボタンを押し、ETCカードを抜く。

以上で確認完了です。

お願い

- 取り付けと配線が終わったら、ブレーキ、ライト、ホーン、ウィンカーなどのすべての電装品が、正常に動作することをご確認ください。
- ETCカードは精密なICチップを搭載しています。故障の原因となりますので、曲げたりコンタクト面を汚したりしないでください。